令和６年度（第 47 回）石川県産業安全衛生大会

と き　令和６年 10 月 22 日（火）午後１時 30 分～
ところ　石川県地場産業振興センター　本館　大ホール

令和６年度（第 47 回）石川県産業安全衛生大会は去る令和６年 10 月 22 日（火）に、石川県地場産業振興センター本館大ホールにて開催され、石川県内の事業者や安全衛生管理担当者など、約 200 人が集まりました。

第１部では、令和６年に発生した能登半島地震及び奥能登豪雨により亡くなられた方々及び労働災害により亡くなられた方々への黙祷の後、大会主催者を代表して、（公社）石川県労働基準協会連合会の髙桑会長からの式辞、地域で安全衛生活動に積極的に取り組んでこられた事業場、個人及び団体への表彰式が行われました。

表彰受賞者は次のとおりです。

令和6年度　安全衛生表彰受賞者

○　公益社団法人石川県労働基準協会連合会会長表彰　（受賞者五十音順）

(1)　事業場賞

田中昭文堂印刷株式会社　（金沢市）

(2)　功労賞

倉　　徹　　澁谷工業株式会社　前精機本部長
兼　生産本部長　（金沢市）

竹原　直彦　　大同工業株式会社　安全衛生課課長
（加賀市）

多田　尚史　　株式会社ソディック加賀事業所
（加賀市）

田中昭文堂印刷（株）様

(3)　功績賞

中西　実　　一般社団法人七尾労働基準協会　実技講師（七尾市）

(4)　団体賞

清水建設北陸支店取引業者災害防止協議会　（金沢市）

石川県商工労働部長
酒井雅洋　様

表彰後、石川県商工労働部酒井部長様及び石川労働局八木局長様からの祝辞を受けました。

石川労働局長
八木健一　様

第２部では、令和5年度安全衛生に係る石川労働局長表彰を受けられた小松マテーレ（株）美川製造部部長の仲原潔様から安全衛生活動の取組状況等の説明がなされ、特別講演では「ほめるコミュニケーションが生む職場の活力とモチベーション」と題し、オフィスファイン（同）代表の中村早岐子様からご講演をいただきました。

○ 安全衛生優良事業場事例発表

「ヒトとシクミを創り、安全意識向上のために
更なる進化をし続ける」
小松マテーレ株式会社
美川製造部長　仲原　潔　氏

○ 特別講演

「ほめるコミュニケーションが生む職場の活力とモチベーション」

オフィスファイン合同会社
代表　中村　早岐子　氏

大会宣言

「大会宣言」（案）について会場からの拍手により採択され、「大会宣言」が令和6年度石川県産業安全衛生大会参加者の総意に基づき宣言されました。

大　会　宣　言

石川県内の労働災害は、関係者の努力により、長期的に減少しており、令和五年における休業四日以上の死傷者災害は、コロナウイルス感染症を除き、一、一六五人と三年ぶり減少した。死亡災害では前年より二人減少し六人となったが、いまだ尊い命が失われている。

休業四日以上の死傷災害では、第三次産業等での増加傾向、転倒災害や墜落・転落災害等が依然として減少しない、高年齢労働者災害の増加などの課題があり、対策を充実、強化していく必要がある。

労働者の健康をめぐっては仕事や職業生活に関する不安や悩みを抱える労働者の増加が続いている。また、化学物質による健康障害の防止対策や、病気を抱えた労働者の治療と仕事の両立が引き続き大きな課題となっている。

本年一月の能登半島地震及び九月の奥能登豪雨による復旧・復興工事等において、作業に従事する労働者の災害の増加が懸念されるため、労働災害防止について一層の徹底を図っていく必要がある。

このような中、労働災害を少しでも減らし、働く人すべてが安全で健康に働くことのできる職場環境を築くためには、石川労働局第十四次労働災害防止計画に基づき、関係者の一人ひとりが、労働の場における安全と健康の確保の重要性を改めて認識し、地域全体にその意識を広く浸透させ、効果的な取組の実施につなげていく必要がある。

労働災害のない、安心して働ける職場環境を実現することは、全ての働く人、全ての国民の願いである。本大会を契機に、労働災害による犠牲者をこれ以上出さないという決意を新たにし、関係者が一丸となって労働災害防止に取り組むことを誓う。

右宣言する。

令和六年十月二十二日

第四十七回石川県産業安全衛生大会

令和7年度（第 48 回）石川県産業安全衛生大会は、令和7年 10 月 16 日（木）13:30 から、石川県地場産業振興センター本館大ホールにて開催予定です。沢山の参加をお待ちしています。